


1. 総論

【総括判断】

「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、  
弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある」







項目	前回（2年1月判断）	今回（2年4月判断）	前回比較
総括判断	拡大に向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある	

（注）2年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ドラッグストア販売が好調となっているものの、百貨店・スーパー販売が弱含んでいることに加え、足下で観光地の入込客数が前年を大きく下回っているなど、全体では弱い動きとなっている。生産活動は、電子部品・デバイスが緩やかに持ち直しつつあるものの、生産用機械が弱含んでいるほか、金属製品が弱まっていることなどから、全体では弱含んでいる。雇用情勢は、改善しているものの、一部に弱い動きがみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年1月判断）	今回（2年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに拡大しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	
生産活動	横ばいの状況にある	弱含んでいる	
雇用情勢	着実に改善しており、依然として人手不足感が強い状況にある	改善しているものの、一部に弱い動きがみられる	
設備投資	元年度は増加見込みとなっている	元年度は増加見込みとなっている	
企業収益	元年度は減益見込みとなっている	元年度は減益見込みとなっている	
住宅建設	持ち直しの動きに一服感がみられる	弱含んでいる	

【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が続くことが見込まれ、さらなる下振れリスクにも十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

百貨店・スーパー販売は、新型コロナウイルス感染症の影響により、スーパーでは飲食料品に動きがみられることから前年を上回っている。一方で、百貨店では多くの品目で動きが鈍くなっていることから前年を下回っている。足下では店舗の休業や営業時間短縮などがみられている。以上のような状況を踏まえると、全体では弱含んでいる。コンビニエンスストア販売は、デザート等に動きがみられるものの、飲料等の動きが鈍いことから、前年並みとなっている。ドラッグストア販売は、新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食料品等に動きがみられることに加え、新規出店効果がみられることから、好調となっている。ホームセンター販売は、除雪用品等の季節商品の動きが鈍いものの、日用品に動きがみられることから、前年並みとなっている。家電大型専門店販売は、パソコン等に動きがみられるものの、エアコンの動きが鈍いことから、一進一退の状況にある。新車販売台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに前年を下回っており、弱い動きとなっている。主要観光地の入込客数及び主要温泉地の宿泊客数は、1月は前年を上回っていたものの、2月は前年を下回り、3月以降足下では前年を大幅に下回っている。旅行取扱実績は、GWの予約を含めキャンセルが相次ぎ、新規予約も入ってこないなど厳しい状況となっている。以上のことから、個人消費については、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。

#### (主なヒアリング結果)

- 国内外ともに観光客が減少していることや外出自粛等により、入店客数や購買客数が落ち込んでいることから、多くの品目で厳しい状況であり、4月足下では食品フロアを除いて全館休業している。(百貨店)
- 飲食料品は、感染症の影響で保存食(レトルト食品、袋麺等)の需要が高まり、前年を上回った。(スーパー、大企業)
- 感染症の影響により来店客数が減少しており、飲料等の動きが鈍い。(コンビニエンスストア、大企業)
- まとめ買いが発生しており、冷凍食品やレトルト食品等に動きがみられる。(ドラッグストア、中堅企業)
- OSのサポート終了に伴い、パソコンの買い替え需要がみられるものの、感染症の影響により来店客数が減少しているほか、入荷の遅れも発生している。(家電大型専門店、中小企業)
- 感染症の影響により、来店客数の減少等がみられる。(自動車販売店、中小企業)
- 4月足下で売上や客数が前年比9割減少しており、開館以来初となる長さでの休館を予定。(宿泊業、中小企業)
- 自粛ムードのなかで外食する人が急激に減少しており、足下では臨時休業している。(飲食サービス、中小企業)

### ■ 生産活動 「弱含んでいる」

電子部品・デバイスは、自動車向けが弱含んでいるものの、スマートフォン向けの一部に動きがみられることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。化学は、大宗を占める医薬品で、拡大のテンポが緩やかになっている。生産用機械は、金属加工機械を中心に弱含んでいる。金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用、ビル用ともに弱まっている。繊維は、衣料向け、非衣料向けともに、弱含んでいる。以上のことから、生産活動については、弱含んでいる。

- スマートフォン向けは5G需要やテレワークの普及を背景に工場のフル稼働が続いている。(電子部品・デバイス、中堅企業)
- 工場は2交代制で休日出勤も行ってフル操業しており、生産は前年比で数量・金額ベースいずれも1割程増加している。また、受注が旺盛であり、受注残が解消できていない状況。(化学工業、中小企業)
- 米中貿易摩擦を背景とした投資の様子見に加え、感染症拡大の影響により、中国からの部品の調達本格回復まで至っていないことから、稼働率を落として生産を継続させている状況。(生産用機械、大企業)

### ■ 雇用情勢 「改善しているものの、一部に弱い動きがみられる」

有効求人倍率は高水準で推移しているものの、低下している。また、新規求職者数が前年並みとなっているものの、新規求人数は前年を下回っている。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。以上のことから、雇用情勢は、改善しているものの、一部に弱い動きがみられる。

- 受注・出荷の減少に伴って工場の稼働率が低下しているため、期間前に辞めてもらうほどではないが、派遣やパートの更新を行わず人員を絞っている(生産用機械、大企業)
- 全店舗において人手不足感は引き続き強く、特にパート・アルバイトが不足している。他業態との競合もあって、なかなか人材を確保できない。(スーパー、大企業)

- 感染症の影響で予約のキャンセルが相次いでいるため、有給の積極的な消化や、雇用調整助成金を活用し常勤職員にも休みを取ってもらっている状況。(宿泊業、中小企業)
- 製造業は業況悪化により求人が減少するこれまでの傾向が続いている。非製造業も前年割れしていることから新規求人全体が減少しており、有効求人倍率が低下している。また、足下では雇用調整助成金に関する相談が急増している。(労働局)

■ **設備投資** 「元年度は増加見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年1-3月期

- 製造業では、自動車・同附属品などが減少となるものの、はん用機械器具、繊維工業などが増加となることから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では、建設などが減少となるものの、不動産、情報通信などが増加となることから、全体では増加見込みとなっている。

- 新工場の建設及び設備の導入などにより増加見込み。(はん用機械器具、大企業)
- 自動梱包システムの導入などにより増加見込み。(繊維工業、大企業)
- ネットワーク通信網の整備などにより増加見込み。(情報通信、大企業)

■ **企業収益** 「元年度は減益見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年1-3月期

- 製造業では、金属製品などが増益となるものの、生産用機械器具、自動車・同附属品などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、建設などが増益となるものの、学術研究、専門・技術サービス、小売などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、全産業では「下降」超となっている。先行きは、「下降」超となる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「弱含んでいる」

- 新設住宅着工戸数でみると、弱含んでいる。

■ **公共事業** 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額でみると、前年を上回っている。

■ **金融機関の貸出金** 「前年を上回っている」

- 金融機関の貸出金は、前年を上回っている。

■ **企業倒産** 「前年を上回っている」

- 負債総額は前年を下回っているものの、件数は前年を上回っている。

■ **消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)** 「前年を上回っている」

- 消費者物価指数でみると、前年を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前 回 (2年1月判断)	今 回 (2年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
石川県	回復している	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある		個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、生産活動は弱含んでいる。また、雇用情勢は改善しているものの、一部に弱い動きがみられる。
富山県	回復のテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある		個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、生産活動は弱含んでいる。また、雇用情勢は改善しているものの、一部に弱い動きがみられる。
福井県	拡大に向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある		個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、生産活動は足踏みの状況にある。また、雇用情勢は着実に改善してきたが、一部に弱い動きがみられる。